

社会貢献

未来を担う若手アスリート支援

当社は未来を担う若手アスリート支援を通じた社会貢献活動として、蛭田みな美選手と田辺ひかり選手の2名の女子プロゴルファーをサポートしています。

蛭田選手とは2017年よりスポンサー契約、2019年より所属契約を締結しています。2023年8月の「CAT Ladies」にてJLPGA ツアー初優勝を飾るなど、今後も更なる活躍が期待される若手プレイヤーの一人です。2024年シーズンは、年間を通じての総合的な活躍度を表す「メルセデス・ランキング」において26位にランクインし、翌2025年シーズンのシード権を獲得しました。

田辺選手とは2017年よりスポンサー契約を締結しており、2024年シーズンは10試合に出場し奮闘しています。

アスリートへのサポートを通じたスポーツ活動支援により、社会貢献はもちろんのこと、取引先とのコミュニケーション・関係の強化や従業員のスポーツ活動への積極的な参加を後押しし、チームワークの醸成や健康増進に取り組んでいます。常に目標に向かって挑戦し続ける姿勢は、当社グループの企業理念や行動規範と深く共鳴しており、今後も次世代を担うアスリートたちへの支援を積極的に行っていきます。



蛭田 みな美プロ



田辺 ひかりプロ

子どもたちの成長を支援する活動

あしなが育英会への寄付活動

当社グループのユアサクオビスは、民間非営利団体である「あしなが育英会」に寄付をする活動を2018年より継続して行っています。プライベートブランド商品である、宅配ボックス付き機能門柱をはじめとする「オリジナル門柱」と「オリジナル表札」の販売額の一部を寄付し、経済的に厳しい状況である子どもたちに対して、安心して学べる環境を提供する支援をしています。

この活動は、「目に見える形で社会貢献をしている企業の一員であるという自負を社員が抱き、プライベートブランド商品に対する愛着を醸成したい」という担当者の提案により実現しました。今後も子どもたちの未来を応援し、明るい社会づくりに貢献していきます。



ユアサクオビスのオリジナル門柱

マレーシアにおける教育支援活動

当社は2020年4月より^{*}、マレーシア国クダ州ムルボック湿地保護林において、同国の森林や生物多様性の維持を目的に、公益社団法人日本マレーシア協会と協働でマングローブ林再生を通じた環境保全活動「ユアサの森プロジェクト」を実施

施しています。

プロジェクトの一環として、活動地域周辺の小学生を対象に、マングローブ林の保全を通じ、教育への関心と創造性を高めることを目的に「教育支援プログラム」を実施しました。また、2025年2月に、活動地域にある小学校の児童約200名に向けて修学支援グッズを贈りました。活動地域周辺は所得の低い地域で、政府から生活補助などを受けている家庭の児童が多いことから、今回は文房具や修学支援グッズ（制服・靴・カバンなど）を贈呈しました。現地では、将来を担う子どもたちに向けて学習意欲向上への働きかけも重要なミッションとなっています。支援を継続的に行うことで、現地の教育活動や生活向上の一助になると同時に、当社グループの活動として引き続き地域に即した取り組みを行っていきます。

環境保全活動としては、2024年度は、国立大学であるマレーシア科学大学が位置するペナン州の森林局から要望を受け、新たにスンガイ・アチエ保護林も含め、合計5,000本の育苗、植林を行いました。

この「ユアサの森プロジェクト」は、2030年3月まで継続的に実施していきます。今後は、当社グループ社員も植林や環境教育プログラムなどへ参加し、地元の大学の学生や地域の方々とともに、同国の環境維持・保全に引き続き取り組んでいきます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の活動は2022年度より開始しています



植林から3年後の現地の様子



修学支援贈呈式の様子